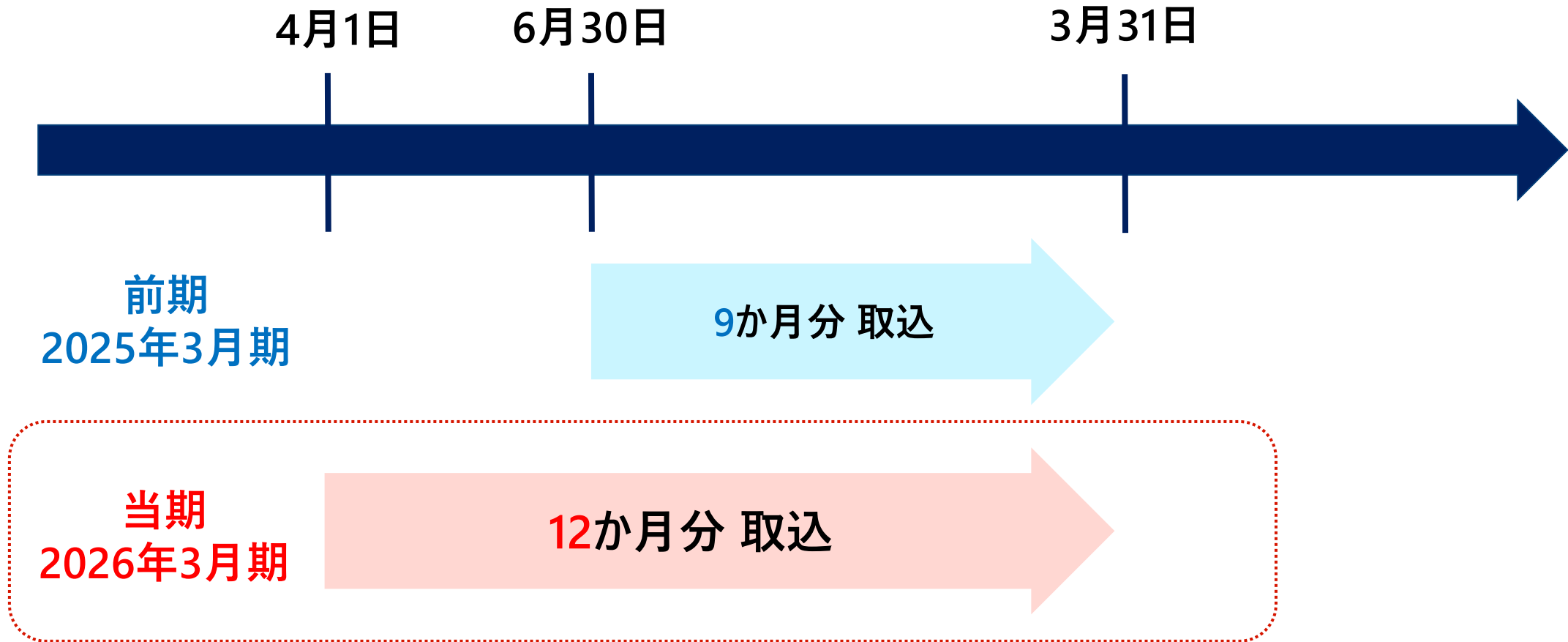


2026年3月期 通期業績

デサイフェラ社の損益取り込み期間

デサイフェラ社の損益取り込みについて、前年度は9か月分、当年度は12か月分を計上しております。



本日の説明会のポイント

2026年3月期は増収増益、過去最高の売上収益を達成しました

2026年3月期 通期実績

2026年3月期は前年度比増収・増益を達成

売上収益：海外主力製品の伸長により、5,158億円(前期比+5.9%)と過去最高を更新
コア営業利益：経費効率化を背景に、1,371億円(前期比21.7%)と大幅な増益を達成
コア当期利益：1,035億円(前期比+14.5%)と、コア指標導入後で最高益を更新※

2027年3月期 通期予想

2027年3月期は前年度比減収・減益を見込むが、同レベルの研究開発投資を継続予定。

売上収益：フォーガ錠の共同販売契約終了等により4,550億円(前期比▲11.8%)を見込む
研究開発費：将来成長を見据え、売上収益比約30%水準の投資を継続
コア営業利益：積極投資と減収の影響等を受け、1,240億円(前期比▲9.6%)を想定

研究開発

Tirabrutinib：FDAに申請受理され審査中
Sapablursen：グローバルP3試験開始
ONO-4578・ONO-2808：まもなくP2データを学会で発表予定
新たに4つの化合物がP1試験をスタート

※2025年3月期よりコア指標を導入しております



売上収益
5,158億円
前期比
289億円増収
(+5.9%)



製品商品売上 3,426億円

前期比 118億円増収
(+3.6%)



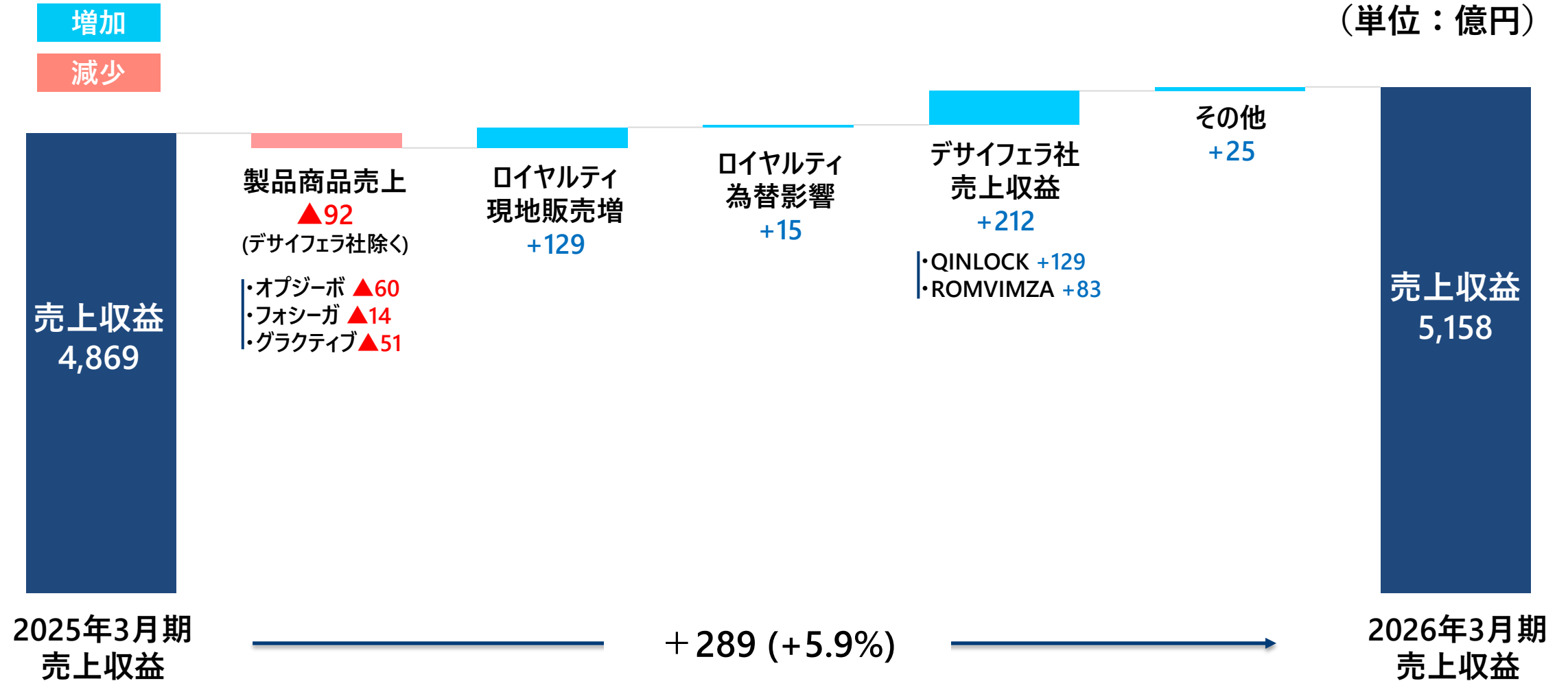
ロイヤルティ・その他 1,732億円

前期比 171億円増収
(+10.9%)

2026年3月期 通期業績 売上収益の内訳

オブジーボの競争激化等により減少した一方、オブジーボ等に係るロイヤルティ収入の増加、
 デサイフェラ社による売上収益計上等により全体で前期比289億円の売上増収

(単位：億円)



2026年3月期 通期業績 製品商品売上/国内

(単位：億円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比		2026年3月期 予想*
			増減額	増減率	
売上収益合計	4,869	<u>5,158</u>	289	5.9%	4,900
製品商品売上	3,308	<u>3,426</u>	118	3.6%	3,300
ロイヤルティ・その他	1,561	<u>1,732</u>	171	10.9%	1,600

内訳 製品商品売上 (国内)	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比		2026年3月期 予想*
			増減額	増減率	
オプジーボ点滴静注	1,203	<u>1,143</u>	▲60	▲5.0%	1,200
フオシーガ錠	896	<u>882</u>	▲14	▲1.5%	800
オレンシア皮下注	266	<u>266</u>	▲0	▲0.0%	280
グラクティブ錠	183	<u>132</u>	▲51	▲27.9%	120
ベレキシブル錠	105	<u>119</u>	14	12.8%	110
オンジェンティス錠	76	<u>90</u>	13	17.3%	90
パーサビブ静注透析用	84	<u>90</u>	6	6.6%	90
カiproリス点滴静注用	86	<u>75</u>	▲11	▲12.9%	90
ビラフトビカプセル	42	<u>56</u>	14	33.8%	—

* 2025年10月30日に公表しました2026年3月期通期の連結業績予想を記載しております。

・国内製品商品は、仕切価格（出荷価格）ベースでの売上収益を開示しております。また、海外製品商品は、正味売上ベースでの売上収益を開示しております。

2026年3月期 通期業績 製品商品売上/海外/ロイヤルティ

(単位：億円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比		2026年3月期 予想*
			増減額	増減率	
売上収益合計	4,869	5,158	289	5.9%	4,900
製品商品売上	3,308	3,426	118	3.6%	3,300
ロイヤルティ・その他	1,561	1,732	171	10.9%	1,600

内訳 製品商品売上（海外）	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比		2026年3月期 予想*
			増減額	増減率	
オプジーボ	131	142	10	8.0%	135
キンロック	255	384	129	50.6%	360
ロンビムザ	非開示	83	—	—	80

内訳 ロイヤルティ・その他	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比		
			増減額	増減率	
オプジーボ	1,130	1,223	93	8.2%	
キイトルーダ	264	295	30	11.4%	

* 2025年10月30日に公表しました2026年3月期通期の連結業績予想を記載しております。

・国内製品商品は、仕切価格（出荷価格）ベースでの売上収益を開示しております。また、海外製品商品は、正味売上ベースでの売上収益を開示しております。



コア営業利益
1,371億円

前期比
245億円増益
(+21.7%)



売上収益 5,158億円
前期比 289億円増収 (+5.9%)



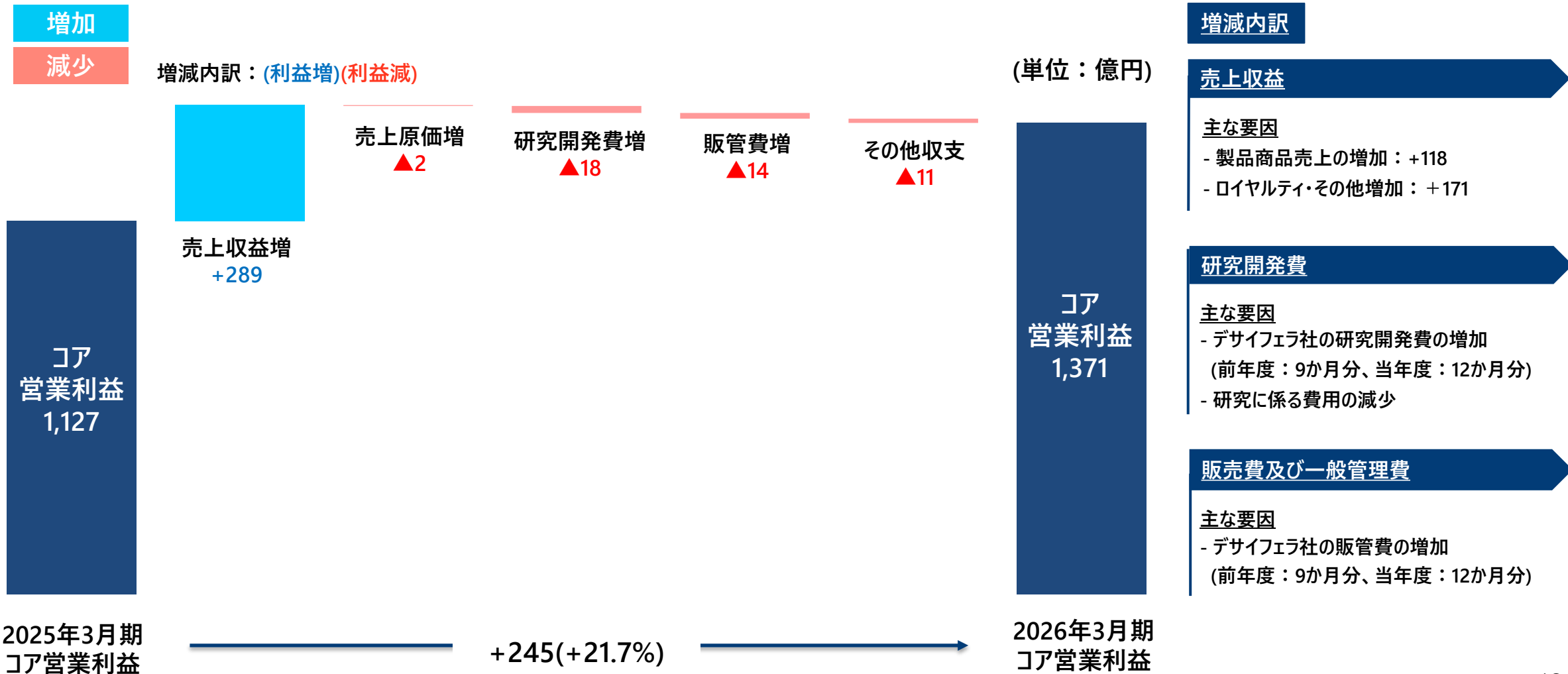
研究開発費 1,451億円
前期比 18億円増加 (+1.2%)



販売費及び一般管理費 1,236億円
前期比 14億円増加 (+1.1%)

2026年3月期 通期業績 コア営業利益の内訳

デサイフェラ社の研究開発費および販売費及び一般管理費を前年度は9か月分、当年度は12か月分を計上したことにより費用が増加した一方、売上収益の増加、経費効率化の推進などによりコア営業利益は前期比245億円増益の1,371億円を計上



2026年3月期 通期業績 連結コア業績

(単位：億円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比		2026年3月期 予想*
			増減額	増減率	
売上収益	4,869	<u>5,158</u>	289	5.9%	4,900
売上原価	1,069	<u>1,070</u>	2	0.2%	1,035
研究開発費	1,433	<u>1,451</u>	18	1.2%	1,500
販売費及び 一般管理費	1,222	<u>1,236</u>	14	1.1%	1,200
コア営業利益	1,127	<u>1,371</u>	245	21.7%	1,140
コア税引前利益	1,139	<u>1,383</u>	244	21.4%	1,140
コア当期利益 (親会社の所有者帰属分)	904	<u>1,035</u>	131	14.5%	910

増減内訳

売上原価 +2億円 (+0.2%)

売上原価率：20.8%

研究開発費 +18億円 (+1.2%)

研究開発費率：28.1%

主な要因

デサイフェラ社の研究開発費の増加
(前年度：9か月分、当年度：12か月分)

販売費及び一般管理費 +14億円(+1.1%)

販売費及び一般管理費率：24.0%

主な要因

- デサイフェラ社の販管費の増加
(前年度：9か月分、当年度：12か月分)

コア営業利益率 26.6%

* 2025年10月30日に公表しました2026年3月期通期の連結業績予想を記載しております。

(参考) 2026年3月期 通期業績 (フルベース)

(単位：億円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比		2026年3月期 予想*
			増減額	増減率	
売上収益	4,869	<u>5,158</u>	289	5.9%	4,900
売上原価	1,479	<u>1,417</u>	▲62	▲4.2%	1,350
研究開発費	1,499	<u>1,470</u>	▲28	▲1.9%	1,500
販売費及び 一般管理費	1,257	<u>1,237</u>	▲20	▲1.6%	1,200
営業利益	597	<u>922</u>	325	54.4%	850
税引前当期利益	593	<u>927</u>	333	56.2%	850
当期利益 (親会社の所有者帰属)	500	<u>698</u>	197	39.4%	670

増減内訳

売上原価 -62億円 (-4.2%)

売上原価率：27.5%

主な要因

- 前期に計上した販売達成マイルストンの反動減

研究開発費 -28億円 (-1.9%)

研究開発費率：28.5%

主な要因

- デサイフェラ社の研究開発費の増加
(前年度：9か月分、当年度：12か月分)
- 開発化合物に係る減損計上の反動減

販売費及び一般管理費 -20億円 (-1.6%)

販売費及び一般管理費率：24.0%

主な要因

- デサイフェラ社の販管費の増加
- デサイフェラ社買収に係る取得関連費用の反動減

営業利益率 17.9%

* 2025年10月30日に公表しました2026年3月期通期の連結業績予想を記載しております。

(参考) 2026年3月期 通期業績 連結コア調整表

(単位：億円)	IFRS(フルベース)	コア調整項目				コアベース
		無形資産に係る償却費	減損損失	その他	Total	
売上収益	5,158				—	5,158
売上原価	1,417	▲256		▲91	▲347	1,070
売上総利益	3,741	+256	—	+91	+347	4,087
研究開発費	1,470		▲19		▲19	1,451
販売費及び一般管理費	1,237			▲1	▲1	1,236
その他収支(費用▲)	▲111		+2	+80	+82	▲29
営業利益	922	+256	+21	+172	+449	1,371
営業利益率	17.9%				—	26.6%
金融収支(費用▲)	4			+7	+7	11
税引前当期利益	927	+256	+21	+179	+456	1,383
税金費用	227	+65	+6	+48	+119	346
当期利益	698	+192	+15	+131	+337	1,035

増減内訳

売上原価

主な要因

- 買収や導入により獲得した無形資産に係る償却費
- *PPA在庫に係る償却費

研究開発費

主な要因

- 開発化合物に係る減損損失

販管費・その他収支

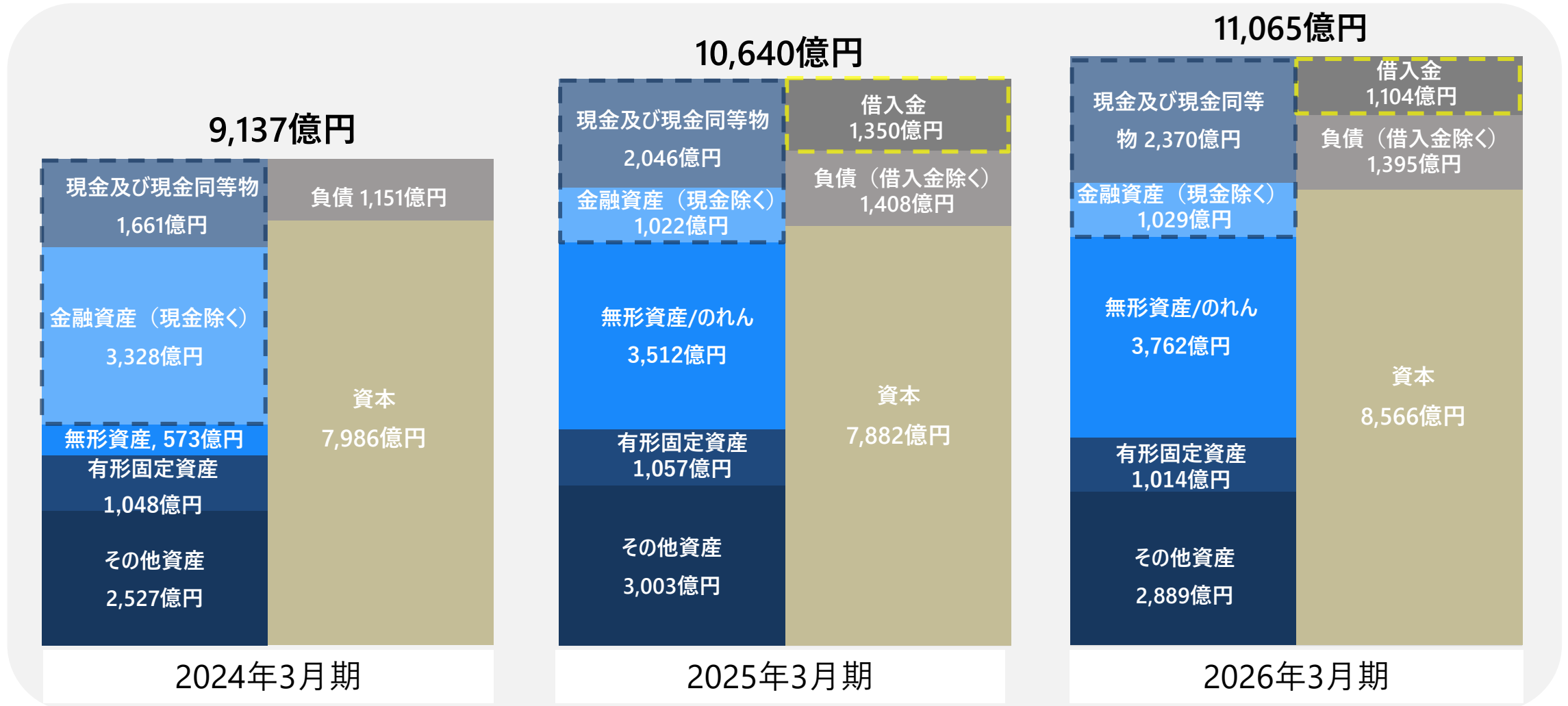
主な要因

- 退職給付制度改定損
- オプジーボ自主回収関連損失
- フォシーガ錠の共同販売終了に伴う損失

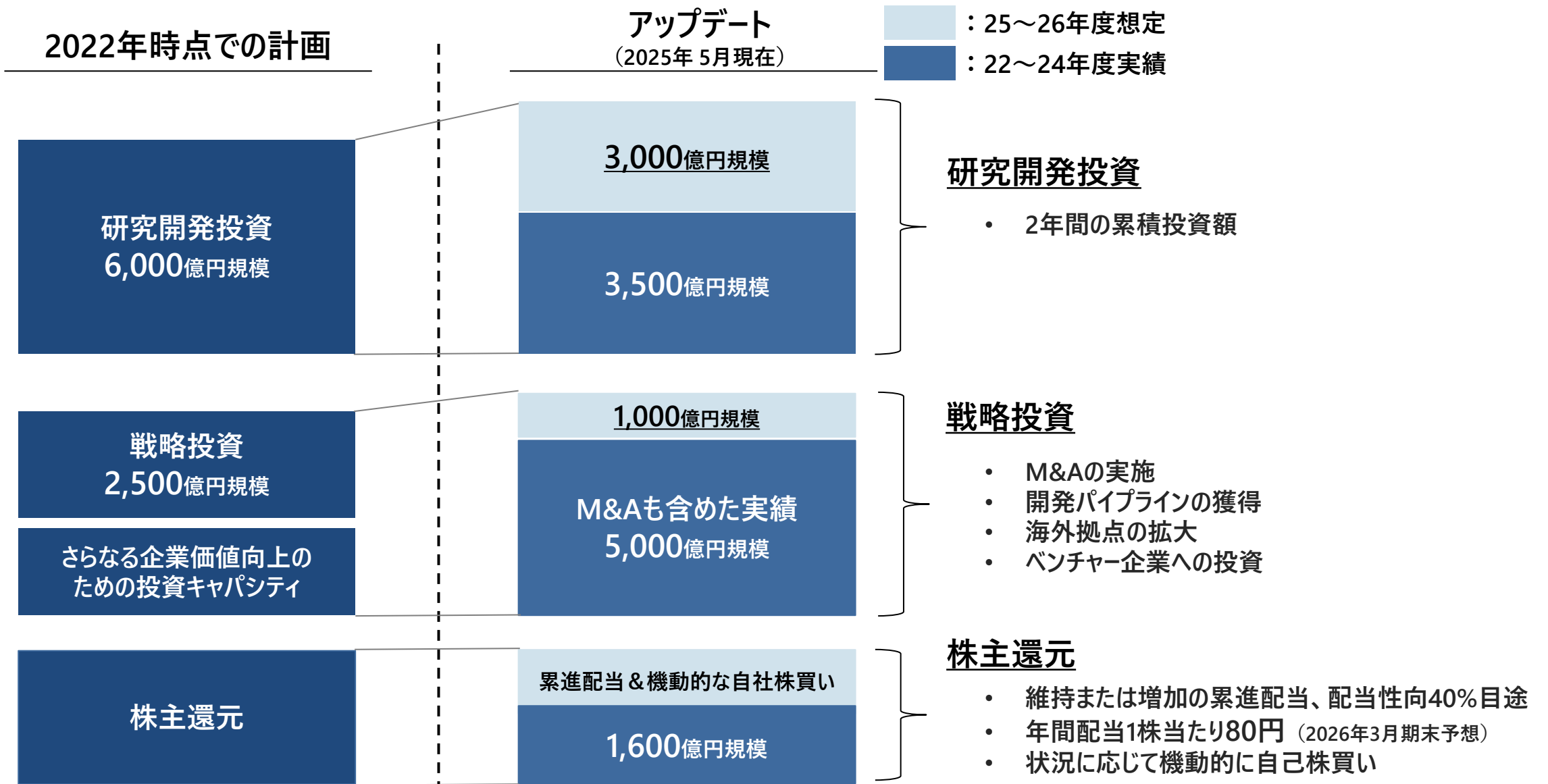
*PPA : Purchase Price Allocation

財政状態計算書（連結）

積極的な戦略投資により成長に向けた構造転換



投資アロケーション(2022~2026年度)



2027年3月期 通期予想



売上収益
4,550億円

前期比 608億円減収
(▲11.8%)



製品商品売上 2,700億円

前期比 726億円減収 (▲21.2%)



ロイヤルティ・その他 1,850億円

前期比 118億円増収 (+6.8%)

2027年3月期 通期予想 製品別売上

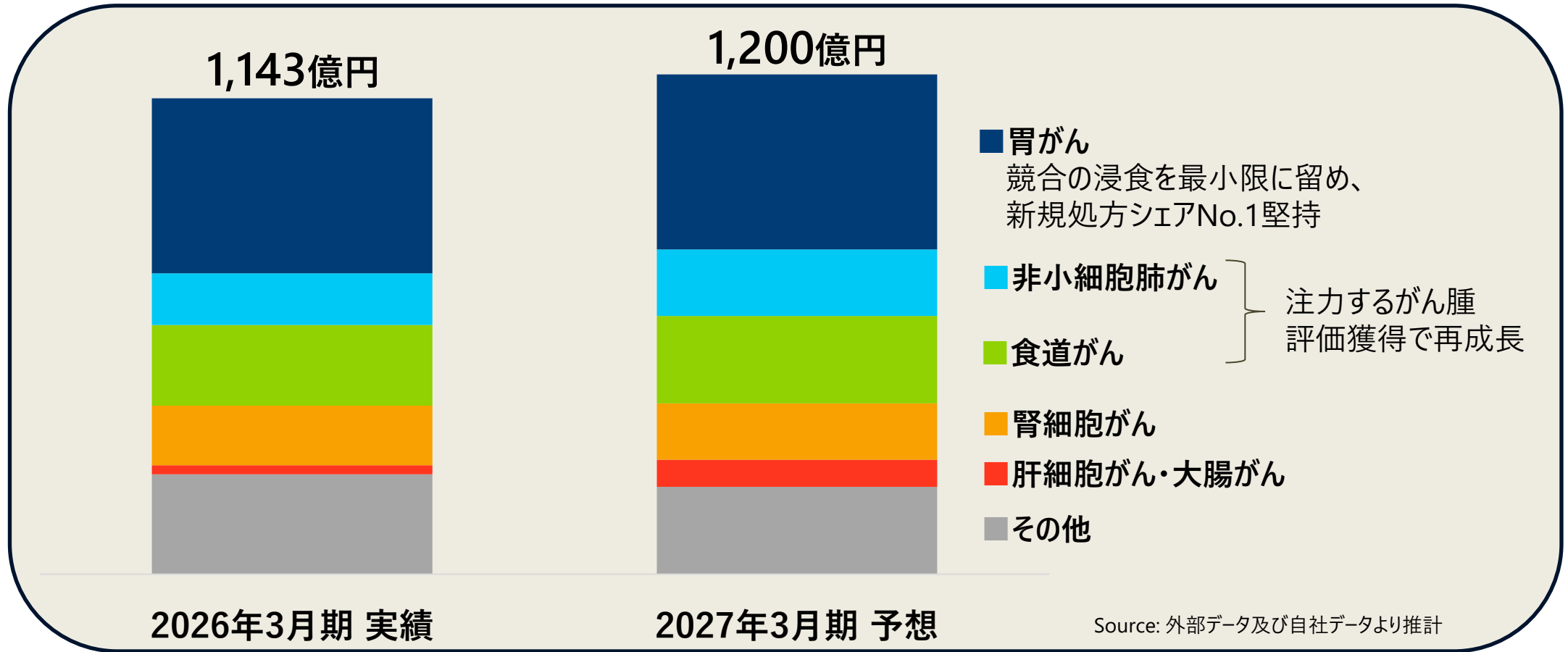
(単位：億円)

内訳 製品商品売上 (国内)	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	前期比	
			増減額	増減率
オブジーボ点滴静注	1,143	<u>1,200</u>	57	5.0%
オレンシア皮下注	266	<u>190</u>	▲76	▲28.6%
ベレキシブル錠	119	<u>120</u>	1	0.9%
パーサビブ静注透析用	90	<u>100</u>	10	11.2%
オンジェンティス錠	90	<u>100</u>	10	11.5%
グラクティブ錠	132	<u>95</u>	▲37	▲28.1%
ビラフトビカプセル	56	<u>85</u>	29	51.5%
カiproリス点滴静注用	75	<u>70</u>	▲5	▲6.6%
内訳 製品商品売上 (海外)	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	前期比	
			増減額	増減率
オブジーボ	142	<u>130</u>	▲12	▲8.2%
キンロック	384	<u>430</u>	46	12.1%
ロンビムザ	83	<u>190</u>	107	129.4%

・国内製品商品は、仕切価格（出荷価格）ベースでの売上収益を開示しております。

・海外製品商品は、正味売上ベースでの売上収益を開示しております。

オプジーボ がん腫別推定売上推移



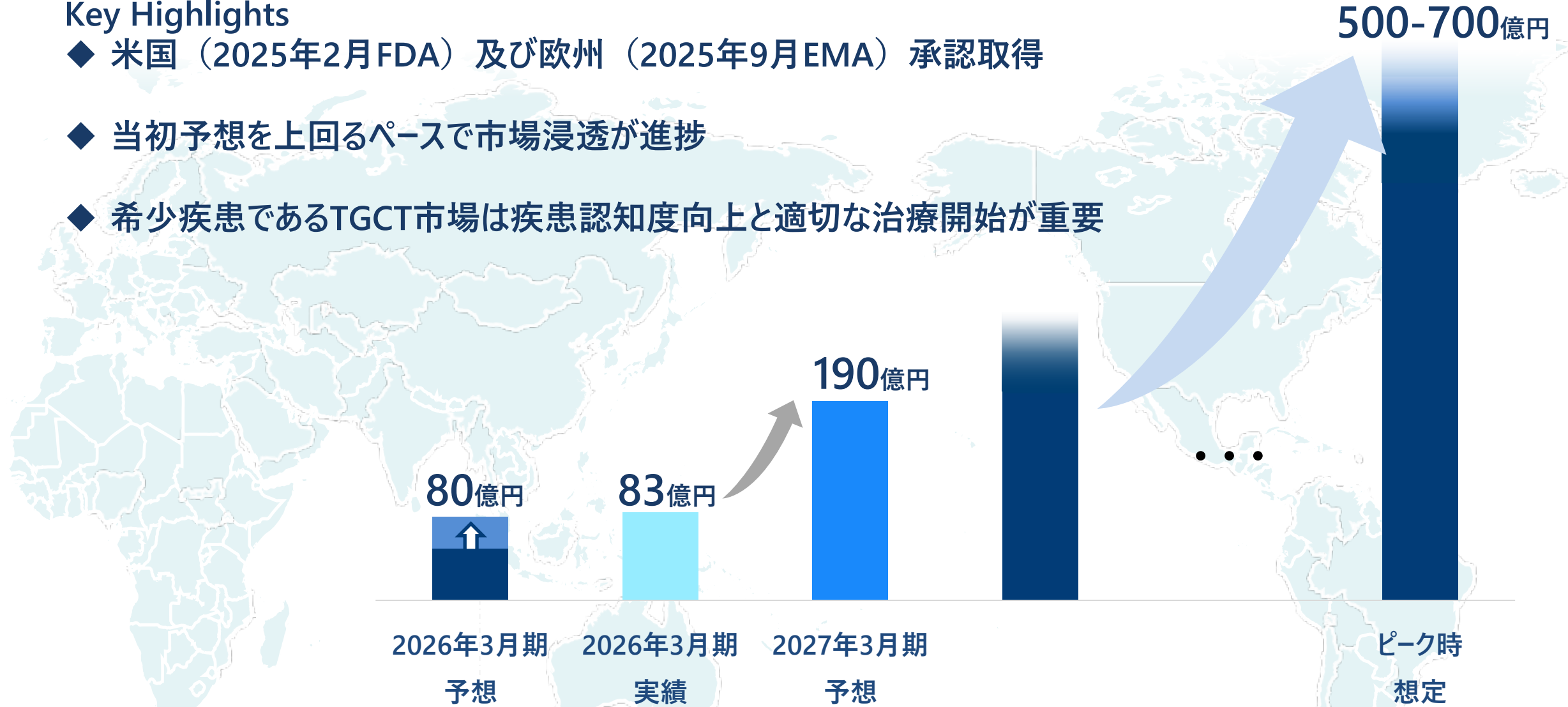
主ながん腫の進捗状況（2025年4-3月進捗）

- 胃がん：競合品による影響を受けたが修正計画通りの進捗
- 非小細胞肺癌：PD-L1陰性セグメントにおける新規処方シェアは伸長しているものの、計画には届いておらず、さらなる拡大に向け活動を強化
- 食道がん：競合品が新たに参入したが、新規処方シェアを堅持し計画通り進捗
- 肝細胞がん・大腸がん：新規処方シェアは堅調に推移

ロンビムザの市場進捗

Key Highlights

- ◆ 米国（2025年2月FDA）及び欧州（2025年9月EMA）承認取得
- ◆ 当初予想を上回るペースで市場浸透が進捗
- ◆ 希少疾患であるTGCT市場は疾患認知度向上と適切な治療開始が重要



ロンビムザの成長機会

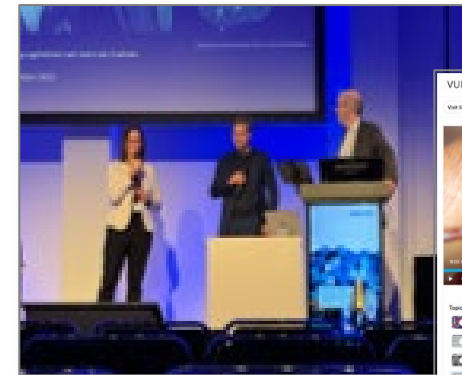
◆ 希少疾患であるTGCT市場は疾患認知度向上と適切な治療開始が重要

Market Opportunity

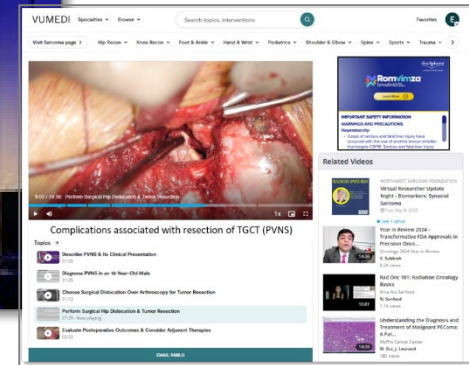


整形外科医における疾患認知度の向上

シンポジウム



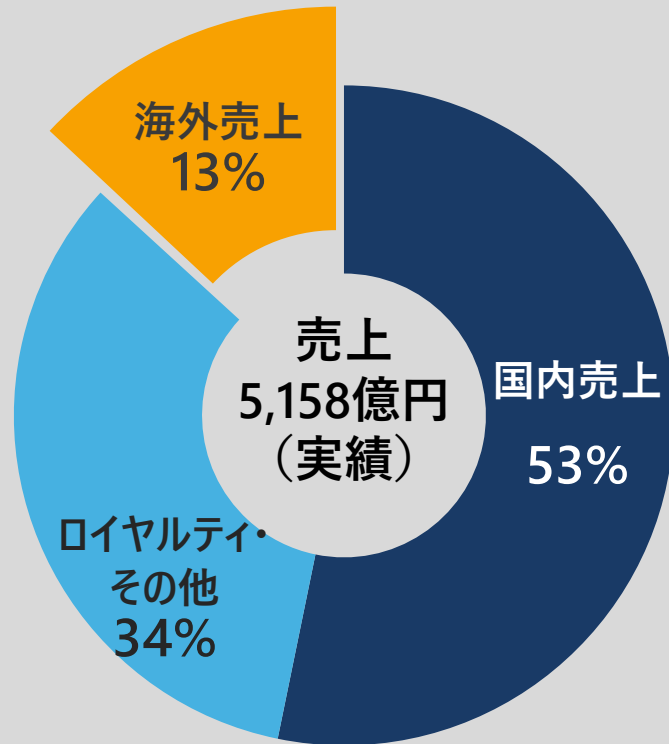
ウェブサイト



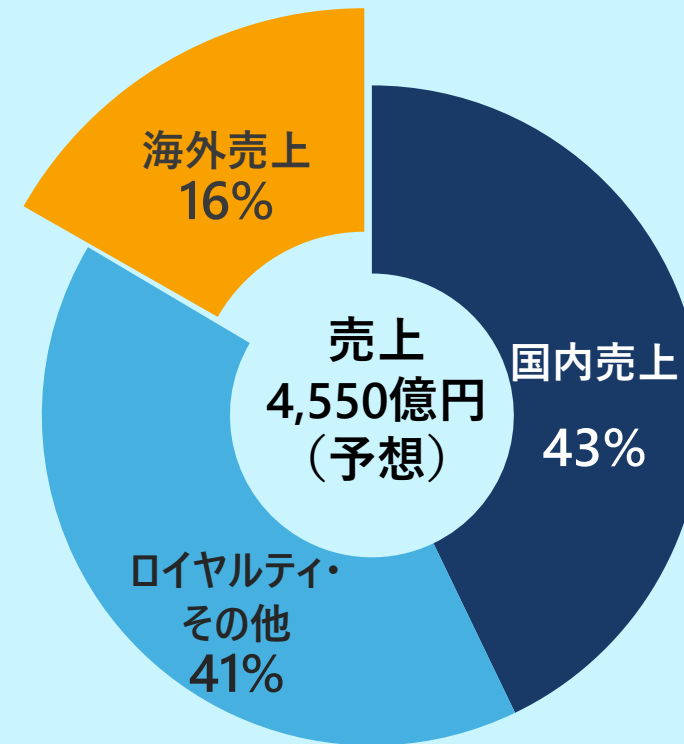
グローバル事業の拡大と加速

海外売上比率の拡大を目指す

2026年3月期（実績）



2027年3月期（予想）



2027年3月期 通期予想 コア営業利益



コア営業利益
1,240億円

前期比 131億円減益
(▲9.6%)



売上収益 4,550億円

前期比 608億円減収 (▲11.8%)



研究開発費 1,430億円

前期比 21億円減少 (▲1.5%)



販売費および一般管理費 1,010億円

前期比 226億円減少 (▲18.3%)

2027年3月期 通期予想 (コア/対前年度比)

(単位：億円)	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減額	増減率
売上収益	5,158	<u>4,550</u>	▲608	▲11.8%
売上原価	1,070	<u>840</u>	▲230	▲21.5%
研究開発費	1,451	<u>1,430</u>	▲21	▲1.5%
販売費及び一般管理費	1,236	<u>1,010</u>	▲226	▲18.3%
コア営業利益	1,371	<u>1,240</u>	▲131	▲9.6%
コア税引前利益	1,383	<u>1,240</u>	▲143	▲10.3%
法人所得税	346	<u>310</u>	▲36	▲10.5%
コア当期利益 (親会社所有者帰属分)	1,035	<u>930</u>	▲105	▲10.1%

増減内訳

売上原価 -230億円 (-21.5%)

売上原価率：18.5%

主な要因

- フォシーガ錠の共同販売契約の終了に伴う減少

研究開発費 -21億円 (-1.5%)

研究開発費率：31.4%

主な要因

- 従来、研究開発費として処理していた一部費用の
販売費および一般管理費への表示区分の変更
- グローバル試験の実施による増加

販売費および一般管理費 -226億円 (-18.3%)

販売費および一般管理費率：22.2%

主な要因

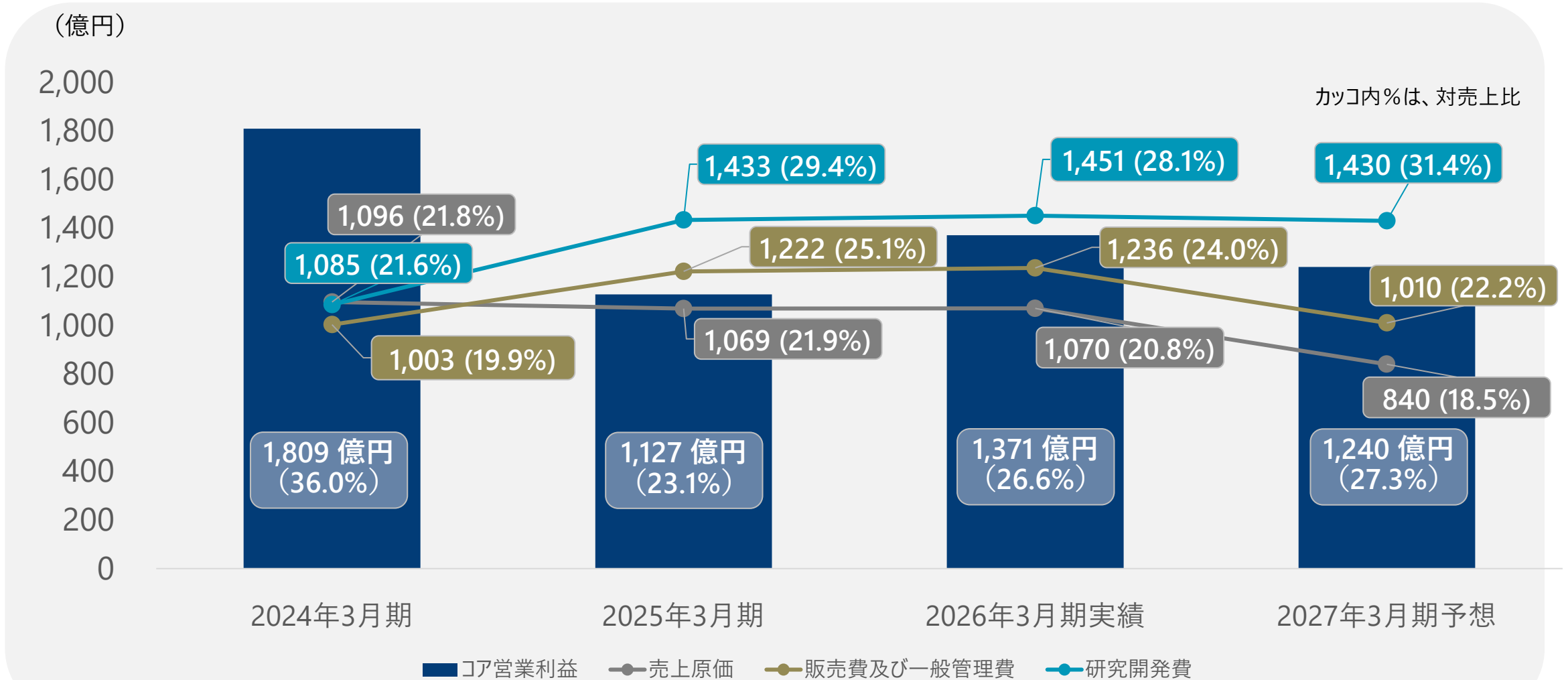
- フォシーガ錠の共同販売契約の終了に伴う
コ・プロモーション費用の減少

コア営業利益率 27.3%

* 業績予想における通期の為替レートは、1ドル = 155円で想定。

コア営業利益と各費用の推移

2026年度は、研究開発には継続投資し、販売費及び一般管理費と売上原価の減少を見込む



(参考) 2027年3月期 通期予想 (フル/対前年度比)

(単位：億円)	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減額	増減率
売上収益	5,158	<u>4,550</u>	▲608	▲11.8%
売上原価	1,417	<u>1,140</u>	▲277	▲19.6%
研究開発費	1,470	<u>1,430</u>	▲40	▲2.7%
販売費及び一般管理費	1,237	<u>1,010</u>	▲227	▲18.3%
営業利益	922	<u>940</u>	18	1.9%
税引前当期利益	927	<u>940</u>	13	1.5%
法人所得税	227	<u>230</u>	3	1.1%
当期利益 (親会社所有者帰属分)	698	<u>710</u>	12	1.8%

増減内訳

売上原価 -277億円 (-19.6%)

売上原価率：25.1%

主な要因

- フォシーガ錠の共同販売契約の終了に伴う減少

研究開発費 -40億円 (-2.7%)

研究開発費率：31.4%

主な要因

- 従来、研究開発費として処理していた一部費用の
販売費および一般管理費への表示区分の変更
- グローバル試験の実施による増加

販売費および一般管理費 -227億円(-18.3%)

販売費および一般管理費率：22.2%

主な要因

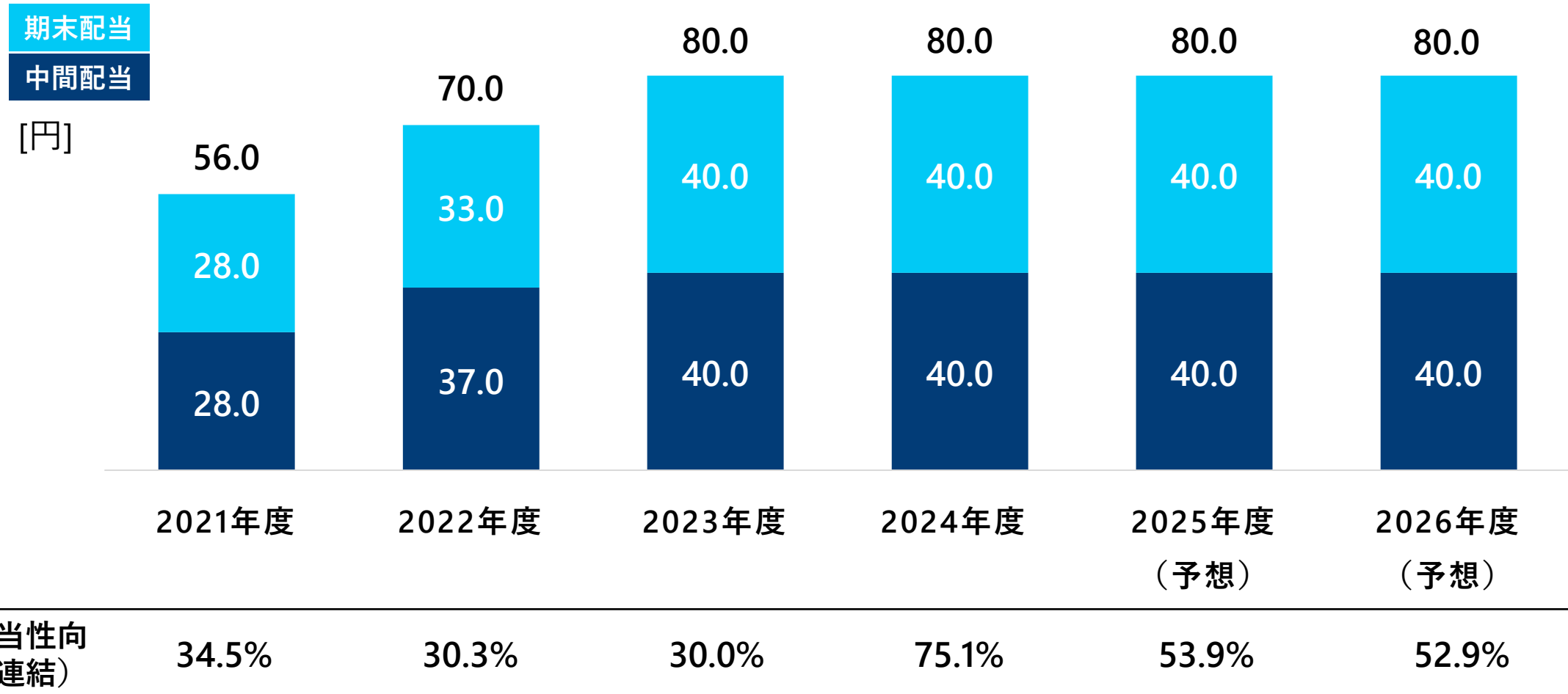
- フォシーガ錠の共同販売契約の終了に伴う
コ・プロモーション費用の減少

営業利益率 20.7%

* 業績予想における通期の為替レートは、1ドル = 155円で想定。
為替感応度は1円の円安で売上収益が15億円増加、営業利益が5億円増加を想定しています。

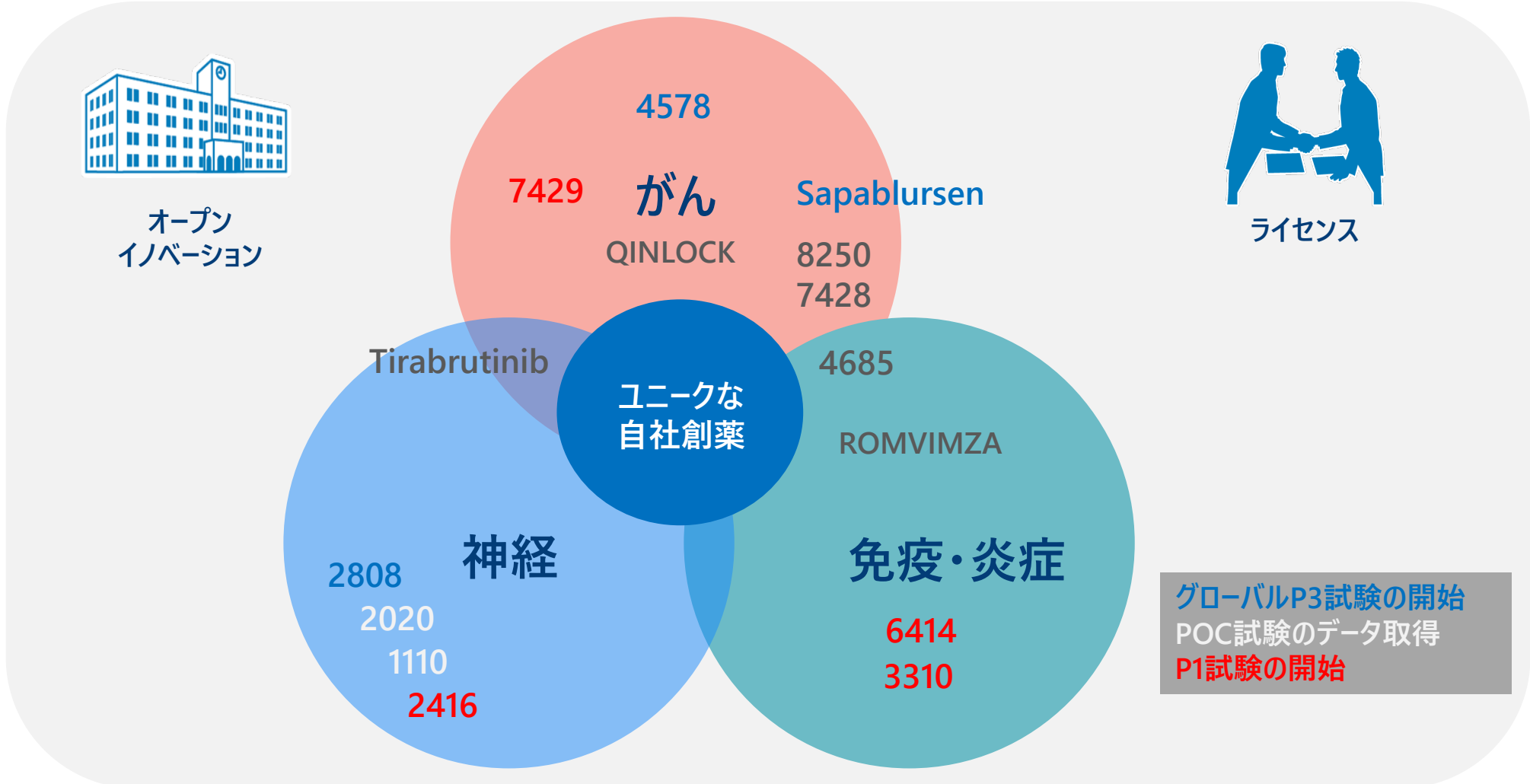
株主還元（配当）

株主還元（配当）は、毎年の年間配当金を維持または増額する累進的な方針であり、各期の業績状況、各種指標を考慮したうえで、配当性向40%をめどに配当を行う事为目标とする



主なグローバルパイプラインの進捗

- ・3つのグローバルP3試験の開始や、7つのPOC試験のデータリードアウトを予定
- ・がん、免疫・炎症、神経の重点領域において新たな4つのパイプラインがP1試験の開始



米国におけるTirabrutinibの開発状況

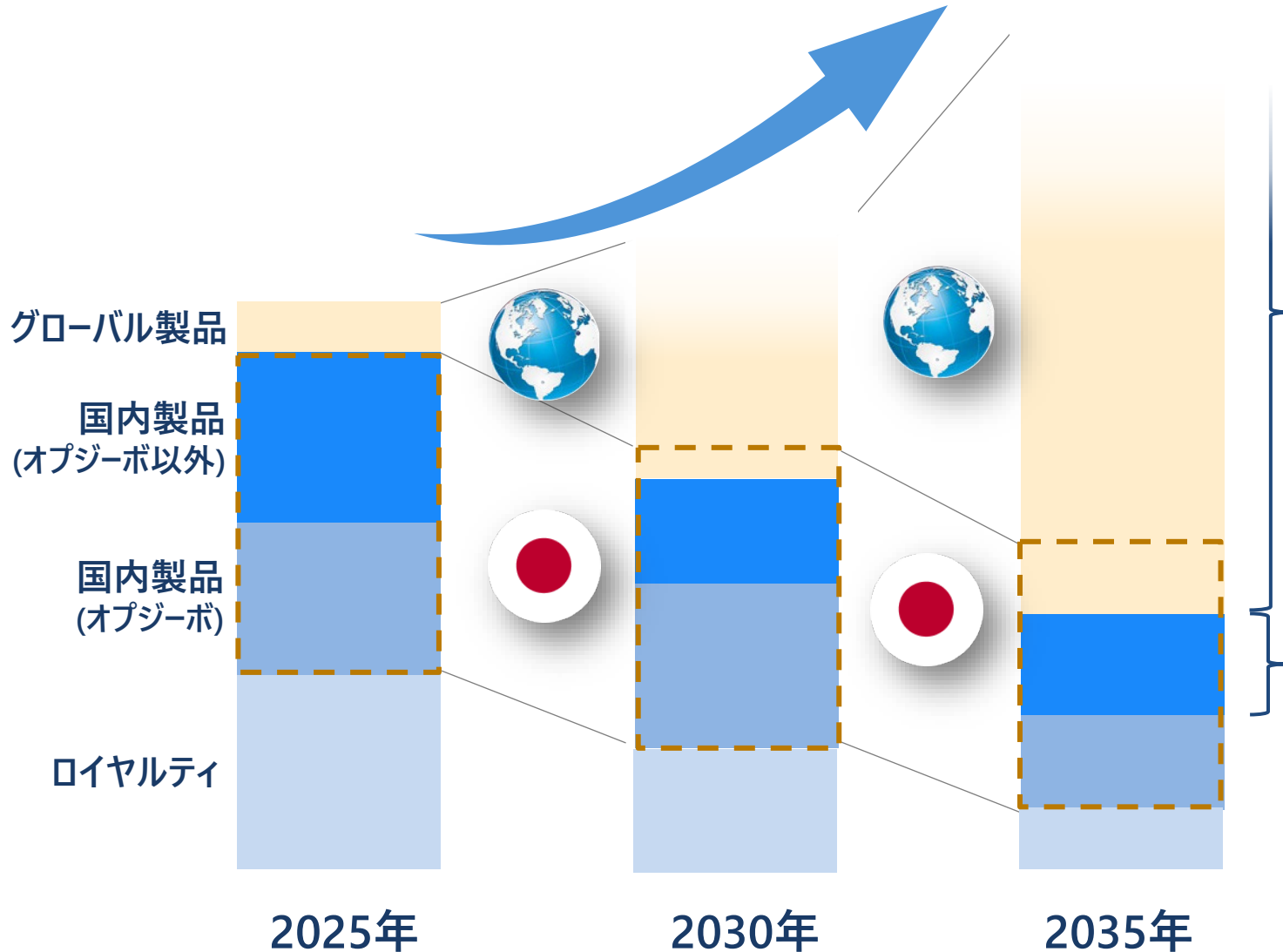
経口で選択性の高いブルトン型チロシンキナーゼ（BTK）阻害剤であり、再発または難治性の中枢神経系リンパ腫（R/R PCNSL）の治療薬として米国FDAで現在審査中

- 第2相試験であるPROSPECT試験では、奏効率は67%、完全奏効率は44%と良好な結果が得られた
- 処方箋薬ユーザーフィー法（PDUFA）に基づく審査終了の目標期日は2026年12月18日
- 現在、米国での販売開始に向けた準備を進行中
- 海外第3相試験であるConfirmatory Studyにおいて患者登録を開始



参照：PCNSL疾患啓発サイト
<https://www.navigatingpcnsl.com/>

将来の売上成長イメージ



成長ドライバー

パイプライン	ピーク売上予想 (億円)
グローバル	
QINLOCK (GIST)	500 – 700
ROMVIMZA (TGCT)	500 – 700
Tirabrutinib (PCNSL)	200 – 300
Sapablursen (真性多血症)	500 – 1,000
ONO-4578 (胃がん)	1,000 ~
ONO-2808 (多系統萎縮症)	1,000 ~
日本*	
Povetacicept	500 ~
Cenobamate	
Gel-One®	

*記載した3品以外も含んだ想定ピーク売上の合計

日本国内売上

2026年5月8日現在